

パース海外セーリング研修2024 レポート



江東区セーリング部
安彦昇哉

オーストラリアのヨット研修が決まってから、ずっと楽しみにしていました。特に、海外でのヨット練習がどんな感じなのか、日本とどう違うのかを体験できるのがワクワクしました。前日は荷造りをしながら、『早く行きたい！』って気持ちでいっぱいでした。飛行機に乗るのも久しぶりで、長時間のフライトの窓から見える景色がどんどん変わっていくのが楽しかったです。



到着後 オーストラリアに到着して、まずプールに入りました。長旅の疲れが少し取れて、気分もスッキリ。その後、ハーバーに行き、ホストファミリーを待ちました。最初は少し緊張していましたが、ホストファミリーが笑顔で迎えてくれたので、安心して慣れやすかったです。その後、一緒にキングスパークに行きました。広大な公園で、遠くまで広がる景色がとても綺麗でした。特に、展望台から見た街並みとスワン川の眺めはすごかったです。

■ヨット研修

オーストラリアの海は、日本の海とは全然違いました。海の色が透き通るように青く、波の感じも新鮮でした。風が強い日が多く、とてもいい練習になりました。現地の選手と一緒にセーリングして、スピードが速くて、予想よりもうまい人が、いい順位も取れたので嬉しかったです。コミュニケーションは大変でしたが、『タック！』『ルーム！』などのヨット用語は共通なので、以外となんとかなりました。あと、現地の選手と海にダイブしたりして遊びました。本当に楽しかったです



■ 観光とオーストラリアの文化



ヨット研修の合間に観光も楽しみました。ショッピングしたり、パース動物園にも行きました。カンガルーやコアラを間近で見られて、『これぞオーストラリア！』という感じがしました。コアラは木の上でのんびりしていて、見ているだけで癒されました。カンガルーやたくさんの鳥がいてふれあいもできたので、すごい楽しかったです。次にチョコレート工場にも行きました。チョコの試食が最高で、ミルクチョコが美味しかったです。あと、色々な種類のチョコを味わうことができ、日本にはないユニークなものも多く、楽しかったです。そして最後にお父さんへのお土産としてワインを買いに、ワイン工場にも行きました。周りには壮大なブドウ畑があり、周りにいたら心地よい感じがしました。帰国して、お父さんが『おいしい』と言ってくれたので、よかったです

■食べ物

オーストラリアの食べ物もたくさん食べました。初日のプールの日では、ソーセージやベーコンを挟んだサンドイッチを食べました。日本ではジューシーなものを食べたことがなかったので、『これぞオーストラリア!』と感じました。フィッシュ&チップスも食べましたが、魚がすごいふわふわで衣がサクサクしていて美味しかったです。オーストラリアでは、公園やハーバーなどでフィッシュ&チップスを食べるのが一般的らしく、地元の人たちも楽しそうに食べていました。



■ホストファミリーへの感謝



今回の研修では、ホストファミリーにとってもお世話になりました。毎日おいしいご飯を作ってくれたり、夜には外食でレストランに連れて行ってもらえたり、オーストラリアの生活について教えてくれたりしました。英語が少ししか話せない自分にも優しく接してくれて、本当にありがたかったです。あと、和歌山のJJYUのレースであったことがあるセリーナがホストファミリーでした。だから、慣れやすかったし、遊んだりしたのが楽しかったです。一緒にお話ししたり、ゲームしたり、ワニワニパニックしたりしました。こうして過ごしていると、自然に仲良くなれました。オーストラリアの家の文化も実感することができました。最後にお別れするのが寂しかったけれど、感謝の気持ちをしっかり伝えました。ホストファミリーから『またいつでも遊びに来てね』と言われて、『日本にも遊びに来てね』と言い合いとても嬉しかったです。

■まとめ

この研修では、ヨットの技術だけでなく、オーストラリアの文化や生活にも触れることができました。海外での経験をする事ができて、もっと英語を話せるようになりたいと思ったし、ヨットのレベルもさらに上げたいと感じました。また、現地の人たちの生活スタイルなどを知って日本との違いを比べることができました。次に海外に行く時には、もっと積極的に現地の人と話せるようになりたいと思いました。最後に同行してくれた、JJYUの皆様、高松の森下さん一週間本当にありがとうございました。最高に楽しくて、良い経験となりました。

